

5月は
赤十字運動月間です

日本赤十字社は、赤十字活動へのご理解・ご協力を呼びかけるキャンペーン「赤十字運動月間」を5月1日から全国で実施します。



人がいま、試されている。



おたより紹介

●前号の供給課のドキュメンタリーは、110回献血をして、今後も続けようとしている者にとっては嬉しいです。娘も今30回で、父に挑戦しています。(伏見区 K.Sさん)

ご家族で献血、とても素敵っ！
皆さんに献血の実情を伝える広報を頑張るっ！



今号の表紙

華頂女子高等学校
JRC (青少年赤十字) 部



華頂女子高等学校JRC部の皆さんが、献血ルーム四条での呼びかけ活動に参加してくださいました。

おかげさまで、この日来所いただいた方は105人！「女子高生パワー」効果ですね。

彼女たちが中心となって、献血の大切さを同世代に広めてくれることを期待しています。

編集後記

先日、大学時代に所属していたクラブ活動の部長の退職パーティーに出席しました。卒業してまだ3年の私。偉大な先輩方を前にし、少々緊張気味。現役の頃はしんどいこともたくさんありましたが、どれも良い経験です。経験に優るものはない。最近、仕事の中でも痛感しています。失敗して学んだり、できる仕事が増えたり、色々な経験をさせてもらえ、困った時には手を貸してくれる人がいる環境に感謝です。(献血バス京都 R)

プレゼント企画



献血検定

次の空欄に当てはまる言葉に答えてください。

5月は
〇〇〇運動月間

正解者の中から、抽選で30名様に記念品を差し上げます。

〈応募要項〉

- ①クイズの答え
- ②献血ingをどこでみたか？
- ③献血ingへのご意見・ご要望
- ④住所・氏名

〈宛 先〉

〒605-0941
京都市東山区
三十三間堂廻り町644
京都府赤十字血液センター
「献血ing」係

応募メ切／平成28年7月19日(火)消印有効
前号の答え／供給課
記念品／けんけつちゃんふせん



●当選者の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。
※プレゼント企画の応募等に関する個人情報は、記念品発送の目的以外に利用することはありません。

初めての400mL献血大歓迎！

男性 17 歳 女性 18 歳 から



けんけついんぐ 献血ing

平成28年4月20日発行

81
2016.4.20



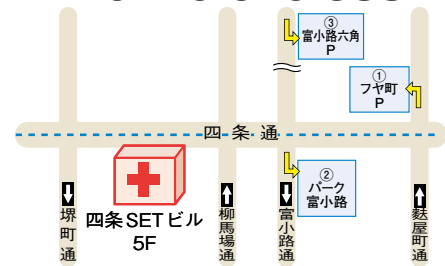
特集

高校生からの献血デビュー☆

(京都翔英高等学校・華頂女子高等学校・京都府立清明高等学校)

献血ルーム 四条

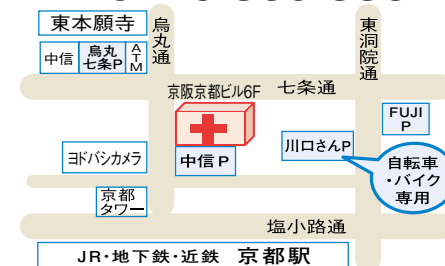
☎0120-640-388



献血受付 毎日 (年末年始を除く)
10:00～12:00 / 13:00～18:00 (成分献血は17:00まで)
※但し、土日祝は昼休みも受付、成分献血は16:00まで

献血ルーム 京都駅前

☎0120-569-356



献血受付 毎日 (年末年始を除く)
10:00～12:00 / 13:00～18:00 (成分献血は17:00まで)
※但し、土日祝は昼休みも受付、成分献血は16:00まで

献血ルーム 伏見大手筋

☎0120-731-350



献血受付 毎日 (年末年始を除く)
10:00～12:00 / 13:00～18:00 (成分献血は17:00まで)
※土日祝の成分献血は16:00まで



献血の情報や日程は、こちらからご確認いただけます。

京都献血 で 検索 <http://www.kyoto.bc.jrc.or.jp/>



京都府赤十字血液センター公式
ぜひ「いいね！」してください！



京都府赤十字血液センター公式
ぜひ「ツイート」してください！



日本赤十字社 京都府赤十字血液センター
Japanese Red Cross Society

高校生からの献血デビュー!

献血のご協力は男女とも16歳から! (400mL献血は、男性17歳・女性18歳から)
「献血に協力する」といっても、方法はさまざまです。各高校生の取り組みをご紹介します。

学内献血 京都翔英高等学校



1

献血の前に、まず知ろう!

学内献血の前に、「献血セミナー」を実施し、必要性や大切さについて学んでいただきました。

また、翌日に開催されるマラソン大会に合わせ、救急法講習も行いました。これで、もし友達に何かあっても、とっさの行動ができるようになりました。



最大8人が同時に献血!



リラックス!
リラックス!

2

いよいよ本番!

体育館を献血会場にするため、前日から準備をします。先生方、部活後の生徒さんにも手伝っていただいて、折りたたみ式の採血ベッドをズラリと並べました。

献血中はベッドの周りに友達が集まり、とても楽しそうです。怖い!と大騒ぎしながらも、いざ針が刺さると、余裕の様子。「怖いからやめたけど、やればよかった!」という生徒さんも。とてもにぎやかなこの日、400mL献血にご協力いただいた人数は120人でした。

3

先生の想い

「自分が大変なとき、誰かに助けてもらうには、先に自分から誰かを助けとかなあかん」と、学年主任の三井純一先生は語ります。

卒業前の3年生を対象に、昭和61年から毎年続けられている学内献血。これから社会へと出る生徒さんたちに向けた、あたたかい想いがこの行事に込められています。

全然痛くない!
(針を腕に固定する)テーブをはがす方が痛かった!笑

思ったより楽。こんなやつたら、またやりたいって思います!



献血にご協力を
お願いしまーす!



1

元気な声で!

クラブ活動の一環として、「献血セミナー」を受講した皆さんが、献血ルーム四条の前で街行く人に協力を呼びかけました。

活動後の感想は、「献血は何歳までできますか?と聞かれて答えられなかったので、今度は勉強して臨みたい」と頼もしいお言葉をいただきました。

2

あこがれの看護師さんに

3年生は初めての献血を体験。看護学校に進学が決まっているとことで、意欲満々。献血したての血液を「触ってみる?」と看護師に言われ、恐る恐る触る2人。「ちょっと温かい」と驚いた様子でした。

あっという間で
した!
採血したての血って、
ちょっと温かいん
ですね。



文化祭 展示 京都府立 清明高等学校

平成27年に新設された清明高校では、文化祭において保健委員会活動の一環として献血啓発ブースが設置されました。

献血の流れや必要性を説明するパネル・献血〇×クイズなどをお貸しし、生徒の皆さんにご覧いただきました。



10代の方にとっての「献血」とは...

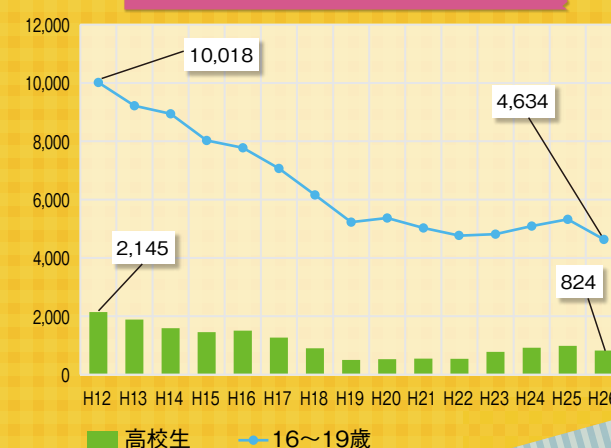
府内の10代献血者は平成3年度に21,924人だったのが、直近は4,634人(平成26年度)と大きく減少しています。全国的にも10~30代の若年層世代が減少傾向にあるのは、少子化のみならず「献血はなぜ必要か」、「血液がどのように役立っているか」といった実情が知られていないことが大きいです。

「怖い」、「痛い」というマイナスイメージを取り払い、10代の方に献血に取り組んでいただくには、「自分には関係ない」という意識から、「人と人が支えあって誰かの命を救う」という想いに変えていただく必要があります。そのために、血液センターは「献血セミナー」などを通して、高校生に「知ってもらう」ことに努めています。

「血液を必要とする人がいる」こと知り、それを誰かに伝えれば、たとえば自身が献血できない場合でも、協力したことになります。

献血をはじめとして、社会は助け合いで成り立っています。若い皆さんに助け合いの気持ちを育んでいただきたい、と願います。

10代献血者数の推移(京都府)



高校生向けの「献血セミナー」などのお問い合わせは 京都府赤十字血液センター 献血課 (075-531-3723) まで